
最強の獣

長谷川

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】
最強の獣

【Nコード】
N2669P

【作者名】
長谷川

【あらすじ】
ある世界に降り立った最強の名のつく獣の物語

目覚めし獣（前書き）

初めての投稿ですので何とぞよろしくお願いします。

目覚めし獣

これはある世界に降り立った三匹の最強と名のつく獣が織り成す物語。

一匹は全体的に黒く、目は赤く、姿は狼。

もう一匹は全体的に薄い蒼、目は黄色く、姿は狼。

最後の一匹は全体的に翠、目は紫、姿は猫。

そしてこの三匹に共通している事は人の言葉を理解して話せる事。

三匹の獣の名はガイア、アルス、ハヤと言う。

この三匹が中心になり物語が動き出す。

登場作品

恋姫無双、オリジナル、なのは、状況次第に増えて行く予定になります。

プロフィール1

名前、ガイア

種族、不明

年齢、不明

性別、♂

性格、無口

所属、不明

属性、雷、氷

特殊武装、イエーガー、融合武装

得意分野、殲滅戦

備考、全てが不明の獣で目的も理由もわからずただ与えられた任務をこなすだけ。そして主が窮地に陥った時に主と融合して共に戦う事が可能になる。

台詞

「我が名はガイア、我が力が欲しければ我に己の力と技をぶつけてみよ。」

「御意：我が主の命とあらば…」

「我に構わず先に行くがよい、我は負けない。」

事の始まり

??? Side

「始まったか：我々のしたかった全ての世界の進行が：」

「そうだな。この三匹の力を利用すれば時空管理局の奴らはすぐに全滅さ。」

「しかしその前に起動実験と実戦経験を積ませるとしよつか。」

「そうだな。」

ドアをノックする音が部屋に響く。

「入れ。」

と一言だけ言うとドアが開き白衣を着た研究者が一人入って来た。

「：様、ガイアの起動準備が整いました。」

「アルスとハヤは？」

「はっ。アルスとハヤは現在急ピッチで進行しておりますが作業が難航してなかなか：」

「そうか。早めに起動出来る所まで持って行ける用に態勢を整えよ。」

「

「御意がままに。」

「それでは：様ガイアの目覚めと移動先を決めに参りましょうか？」

「そうしよう。」

一言だけ言うとガイアの眠る所に移動する。

?? 場所

着いた所は大きなゲートとカプセル培養層が三機そして無数のケールブルがある。「：様、こちらが起動スイッチです。」

離れて所に赤いスイッチが置かれている前に一人の初老の男性。

「ガイアよ。この腐れ切った世界を壊し新たな世界を築き上げる為、そして管理局の奴らに見せしめよ。」

スイッチを入れた時、ゲートが開きカプセルが宙に浮いてゲートに消えて行く。「ガイアよ。我が使命、果たしてくれよ。殺戮と破壊

の限りをつくせ。」
笑い声がこだまする。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2669p/>

最強の獣

2010年12月10日23時11分発行